

---

# コロナ禍における出生

2022年2月8日

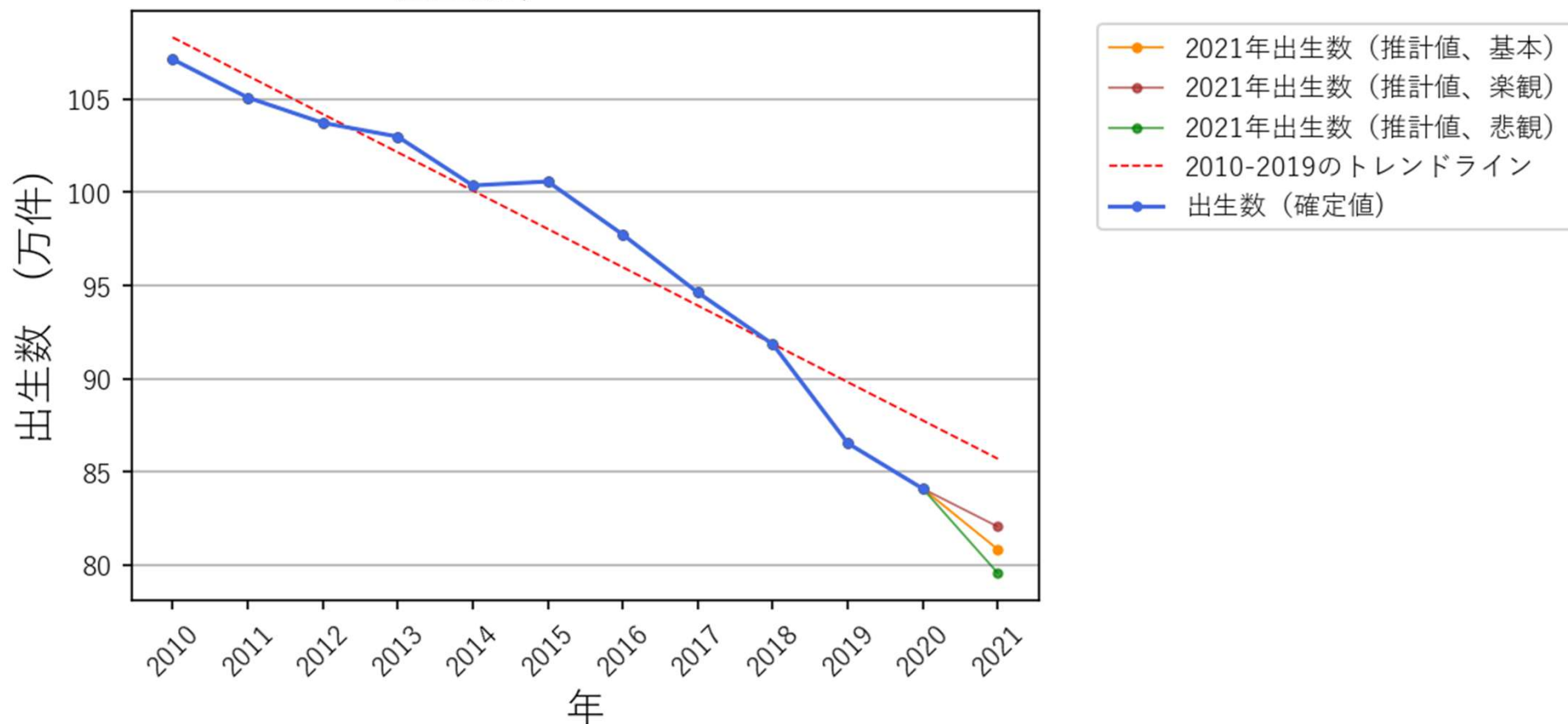
千葉安佐子（東京財団）  
仲田泰祐（東京大学）

# 背景

- コロナ危機は日本社会に様々な影響を与えている
  - 医療・経済・教育・文化
- この資料では、コロナ危機が出生数にどのような影響を与えたかを調査
  - 婚姻数の分析は「コロナ禍における婚姻（千葉・仲田）」
  - コロナ危機前のトレンド
  - コロナ禍での推移・今後の展望
    - 2020年までの人口動態統計（確定値）
    - 2021年1月から9月までの人口動態統計（概数値）
    - 2021年10月から11月までの人口動態統計（速報値）

# コロナ禍の出生

出生数、2010 - 2021



人口動態統計

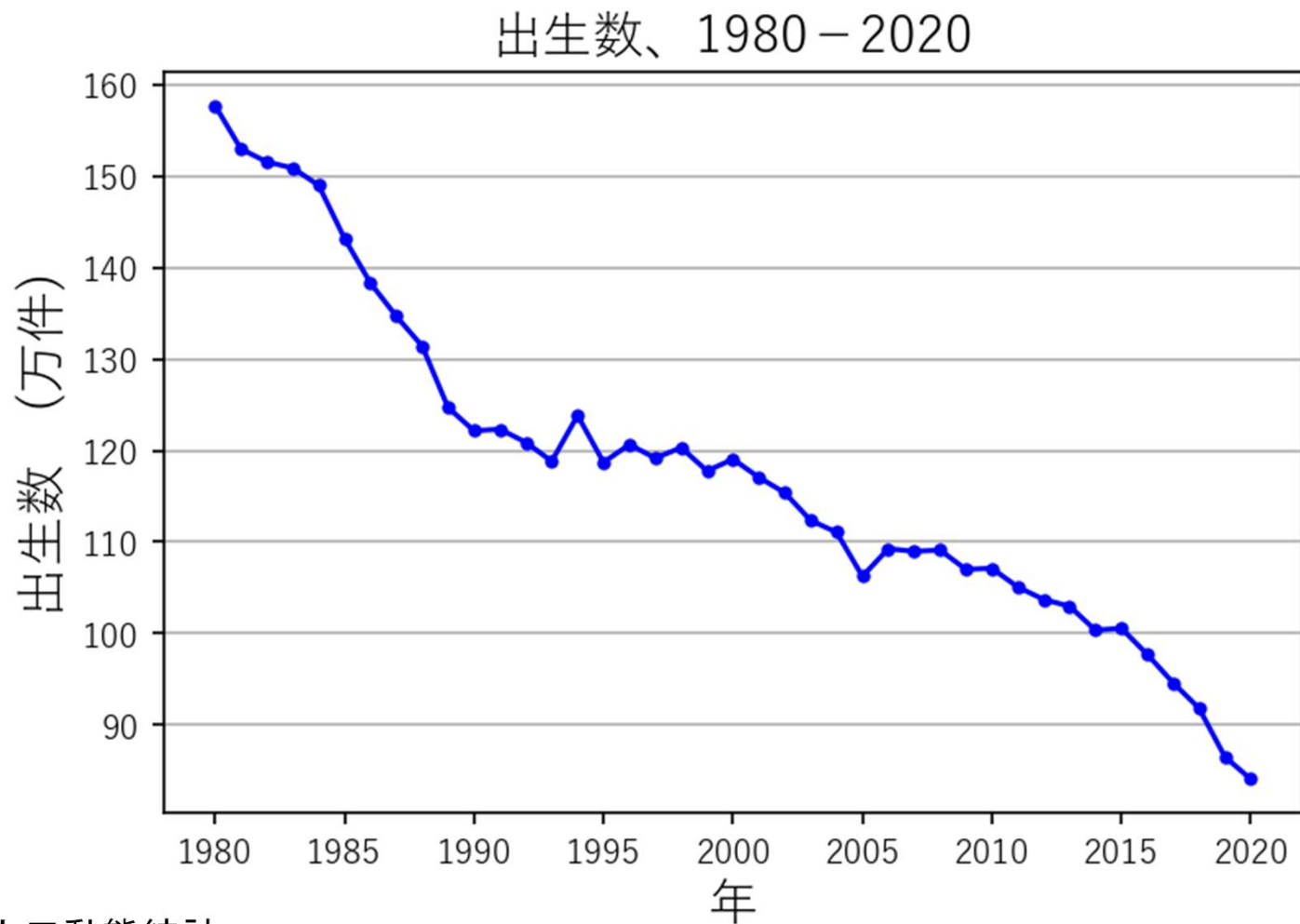
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>

# 重要ポイント

- コロナ危機前の出生者数には下降トレンド
  - 婚姻数の減少、晩婚化、晩産化
- コロナ禍では、第1波・第1回緊急事態宣言の時期に妊娠数が大幅に減少
  - 呼応して、2021年1月・2月の出生数が大幅に減少
  - その出生数は回復も、2021年12月・22年1月には減少が予測される
    - 2021年5月の妊娠届け出数の大幅減少を反映
  - 2021年の出生数（確定値ベースの推計値）は約81万人程度となる可能性
    - トレンドを約5万人（5.7%）下回る
    - 2019年、2020年もトレンドを3-4万人下回っていたため、「コロナ危機の影響」は今のところ限定的と言える
- 中長期的には、コロナ禍における婚姻数の減少が出生数の減少につながる可能性
  - 今後、この2年間の婚姻数減少を埋め合わせるだけの上昇がなければ。
  - 「コロナ禍で失われた婚姻」は約11万件。埋め合わせが無ければ「失われた出生」は約21万人

# コロナ危機前の出生

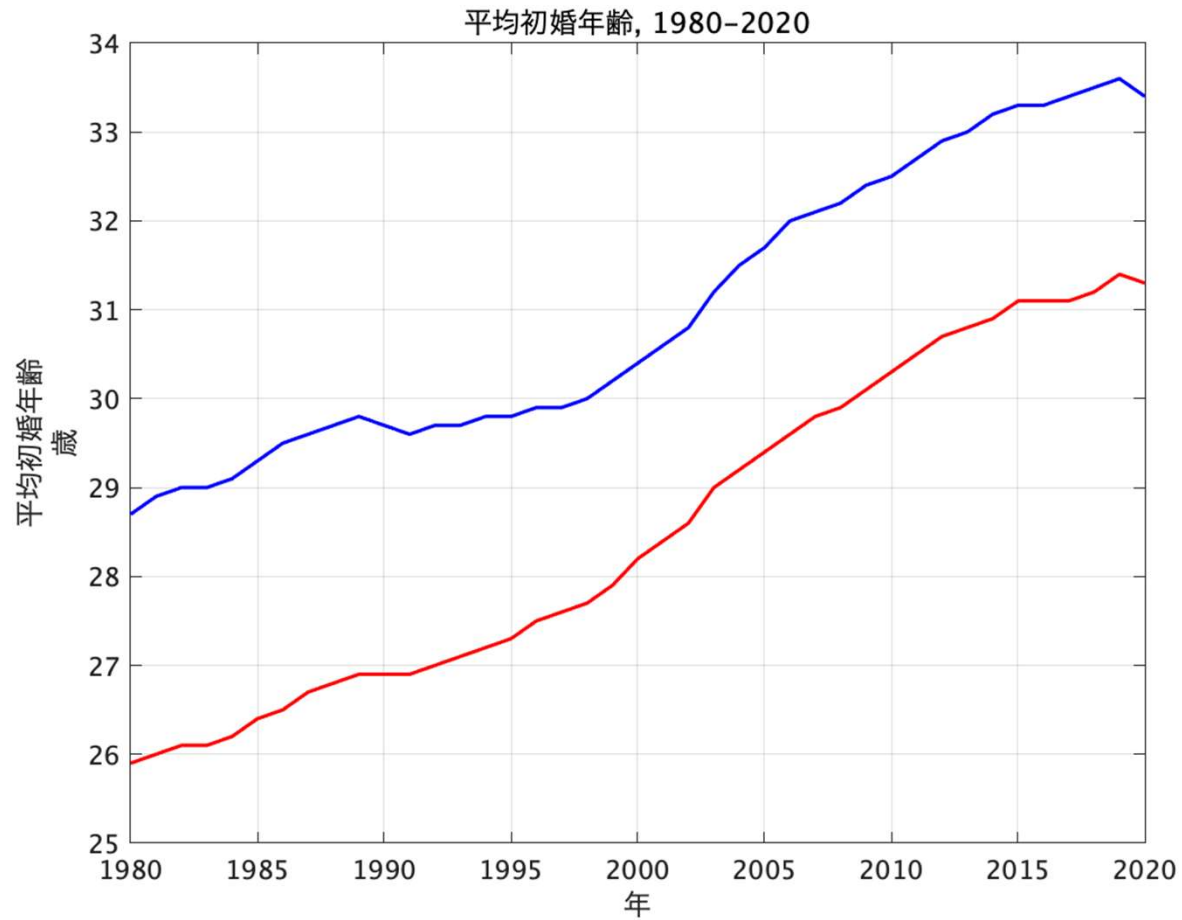
## 出生数の減少



人口動態統計

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>

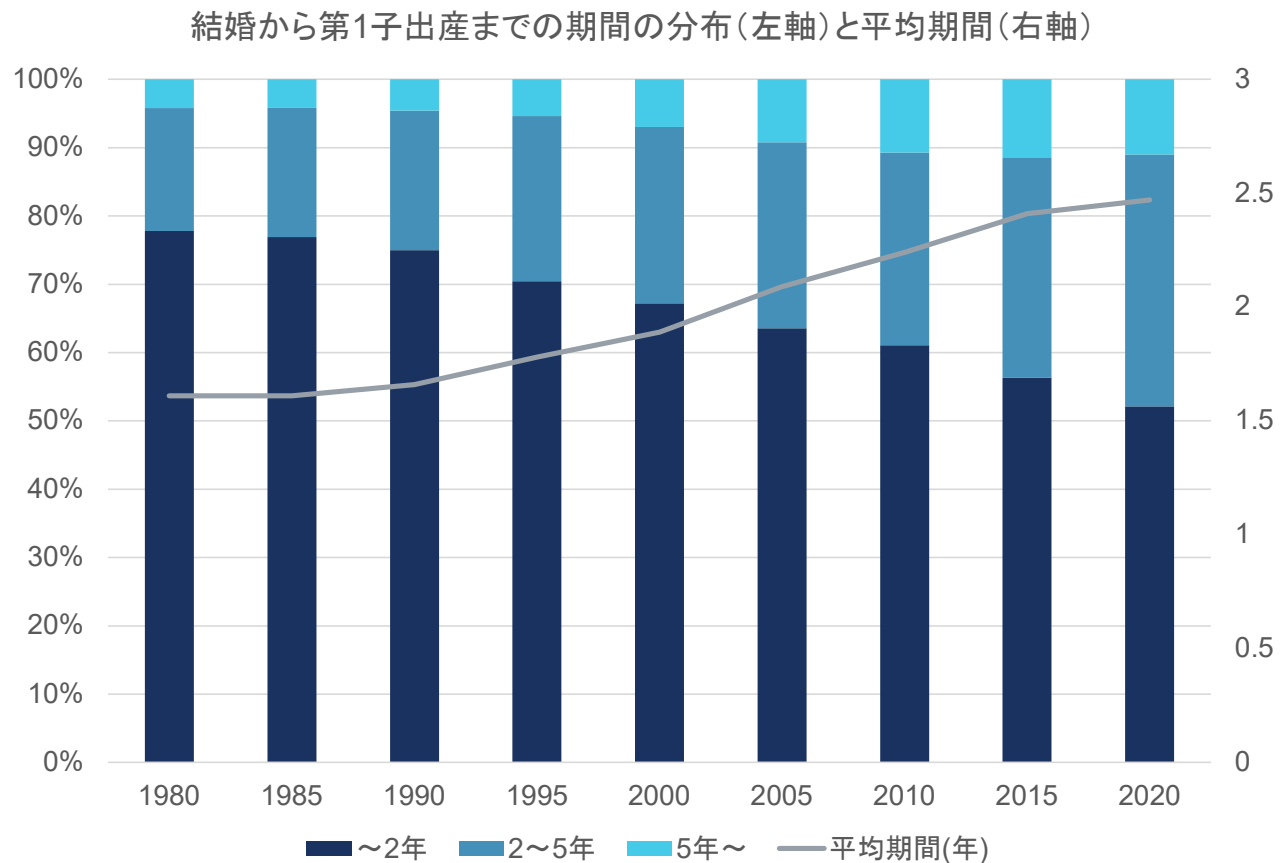
# 晚婚化



人口動態統計

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>

# 結婚から第一子出産までの期間

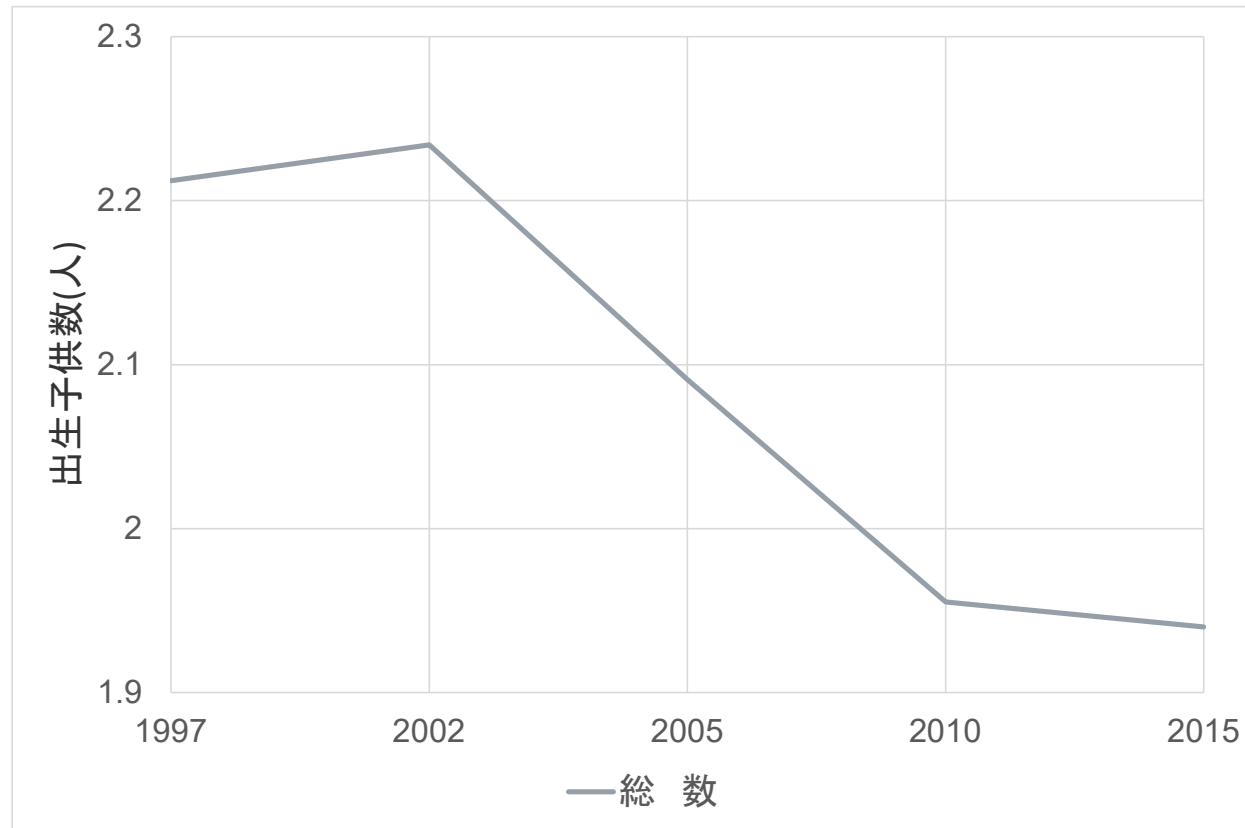


人口動態統計

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>



## 一人当たりの出生子供数(結婚期間15-19年)



出生動向基本調査

[https://www.ipss.go.jp/site-ad/index\\_Japanese/shussho-index.html](https://www.ipss.go.jp/site-ad/index_Japanese/shussho-index.html)

# コロナ禍における出生

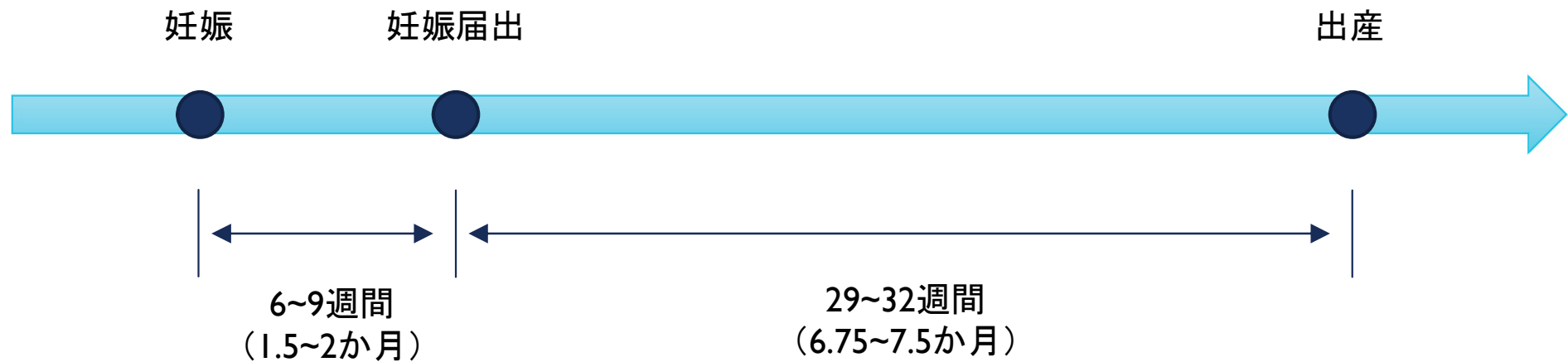
# コロナ危機の時期の定義

- いつから人々の出生に関する行動はコロナ禍によって影響された可能性があるのか？
- 2020年1月：国内初の感染者発見
- 2020年2月：国内初の死亡例
  - ダイヤモンド・プリンセス号の横浜港での検疫
  - 全国小中学校の一斉休校要請
- 2020年3月：東京、大阪での週末外出自粛要請
- 2020年4月：全国に緊急事態宣言発令
  
- 4月の宣言以前から、危機感は社会に共有されていた
- 本分析では、2020年2月から「コロナ危機が妊娠に影響を与え得た時期」と定義
  - 妊娠から妊娠届出までの平均期間は約7.5週間（約2か月）※<sup>1</sup>であることを考慮して、**2020年4月以降**を「コロナ危機が妊娠届出数に影響を与え得た時期」と定義
  - 妊娠から出産までの平均期間は約38週間（約9か月）※<sup>1</sup>であることを考慮して、**2020年11月以降**を「コロナ危機が出生数に影響を与え得た時期」と定義

これまでの出来事の総括

[https://www.naika.or.jp/jsim\\_wp/wp-content/uploads/2020/11/nichinaishi-109-11-article\\_2.pdf](https://www.naika.or.jp/jsim_wp/wp-content/uploads/2020/11/nichinaishi-109-11-article_2.pdf)

# 妊娠から出産までのタイムライン



\*ここでは受胎が起きた週を妊娠した週と定義。一般的には「最終月経週」を「妊娠0週」と定義することに留意

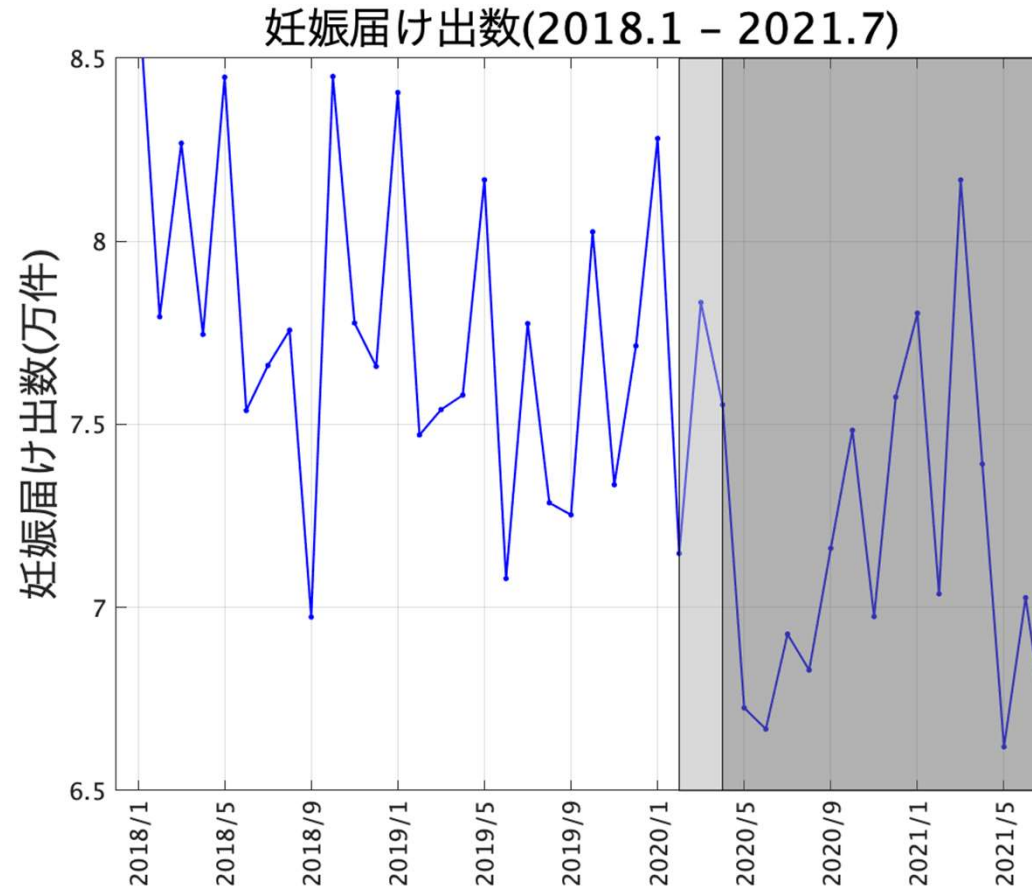
## 参考資料

※MSDマニュアル <https://www.msmanuals.com/>

※妊娠届出数の状況について [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_20613.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_20613.html)

※MSDマニュアル <https://www.msmanuals.com/>

# 妊娠届出数

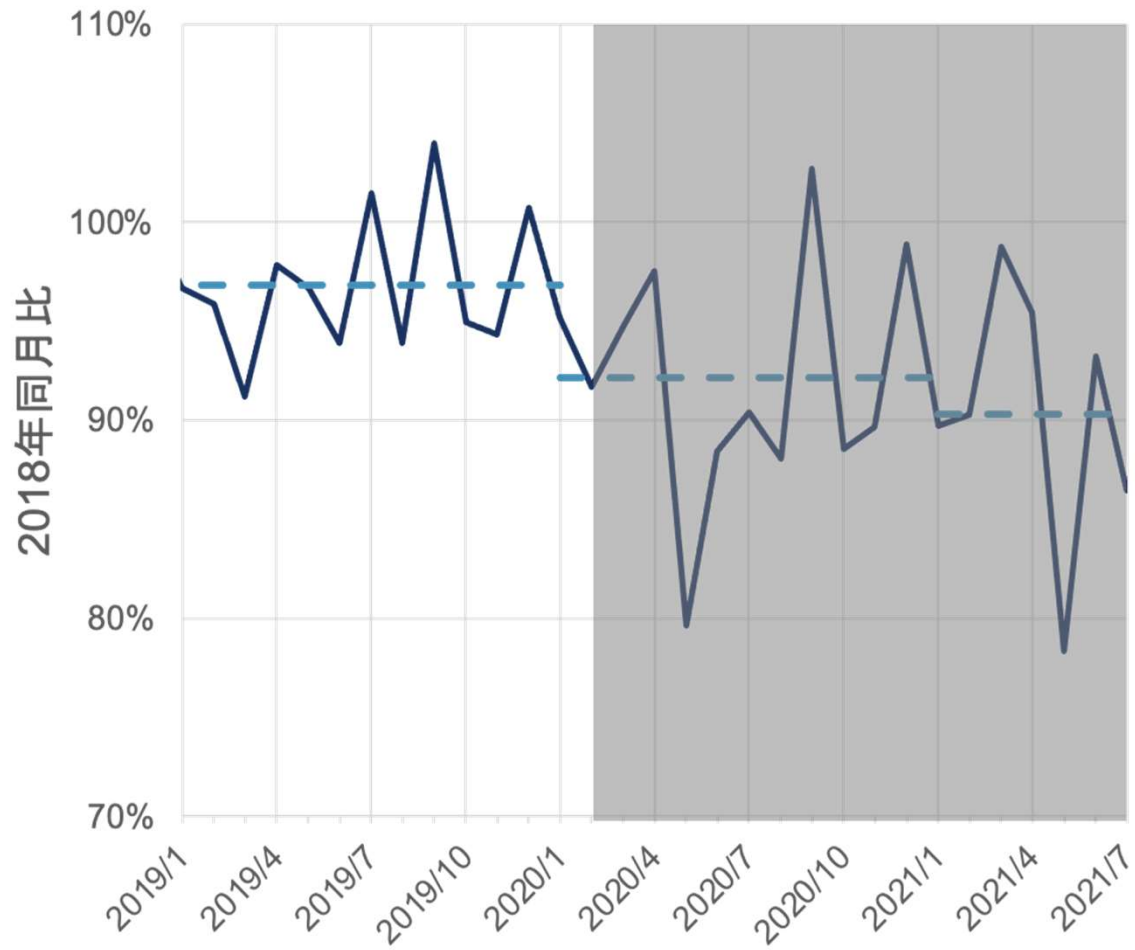


妊娠届出数の推移等

<https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/000824098.pdf>

- 2020年5月から8月に妊娠届出数が停滞
  - 第1波（20年3-6月）・第1回緊急事態宣言（20年4-5月）の時期の妊娠に対応
- 2020年9月以降は回復基調
- 2021年5月-7月に再度停滞
  - 第3波収束期～第4波（2021年3月-5月）・第3回緊急事態宣言（2021年4月から）の妊娠に対応

# 妊娠届出数 — 2018年同月比推移



妊娠届出数の推移等

<https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/000824098.pdf>

## 2021年の月次出生数：データの扱い

### ■ 人口動態統計の更新

- 速報（調査年月の2か月後）
- 概数（調査年月の5か月後）
- 確定値（調査年月の翌年9月）

### ■ 2022年2月7日現在

- 2020年12月まで：確定値
- 2021年1月-9月：概数值
- 2021年10月-11月：速報値

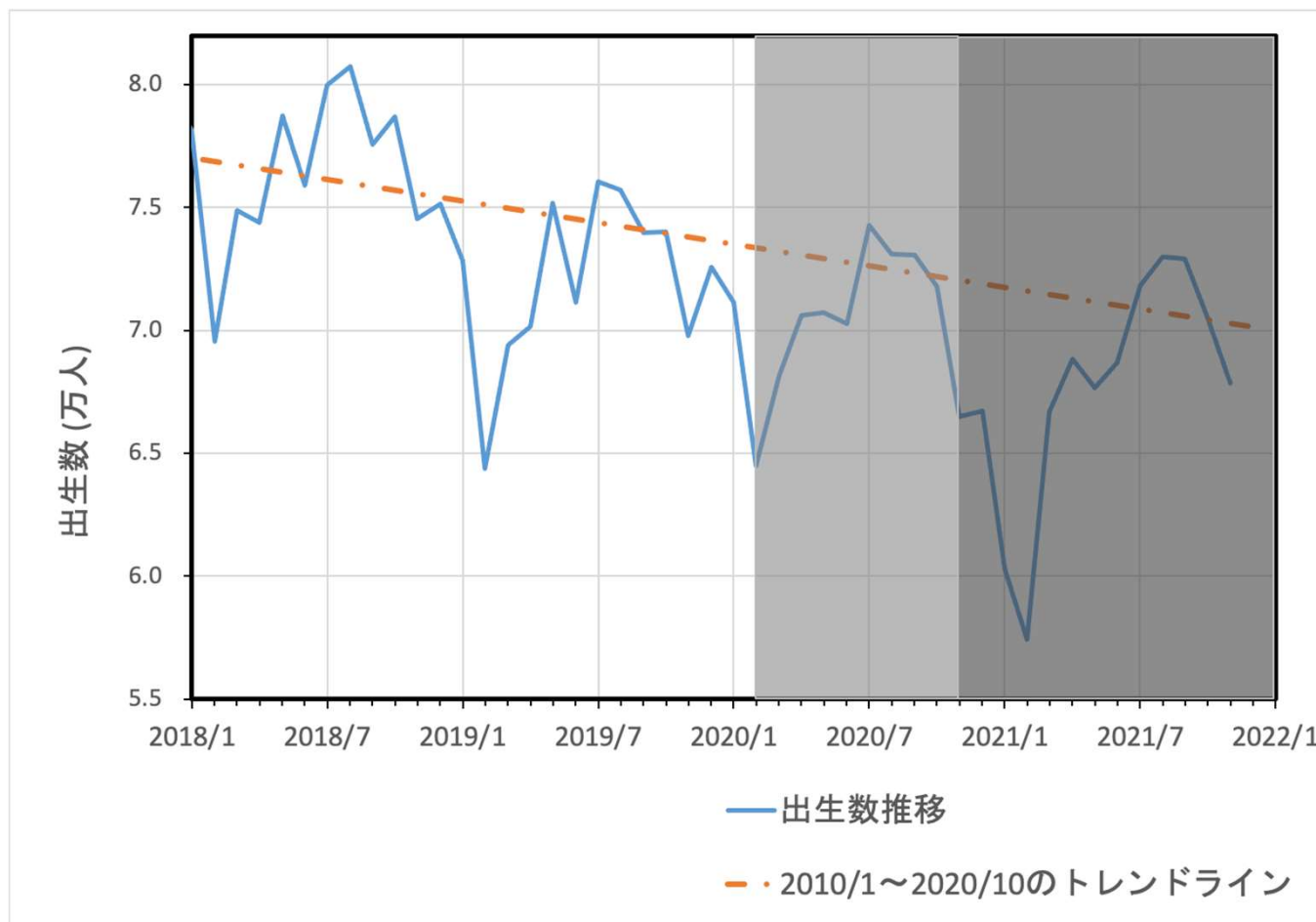
### ■ 速報値、概数值、確定値には乖離

- 乖離には季節性もある

### ■ 乖離を考慮して2021年1月から11月までの速報値相当の月次婚姻数を算出

- 詳細はAppendixに

## 出生数の推移

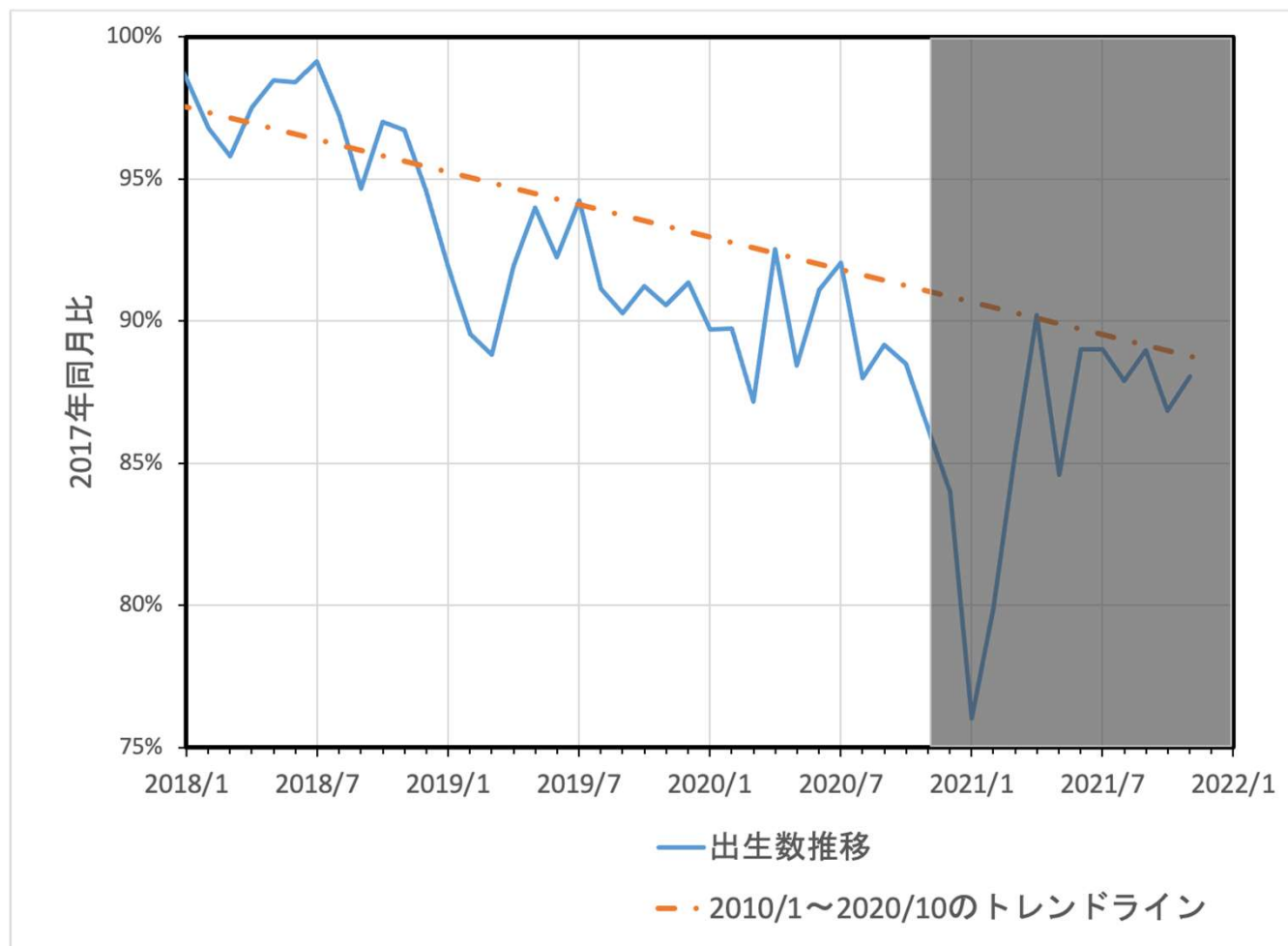


人口動態統計（確定値との調整を行った値）

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>



## 出生数の推移（2017年同月比）



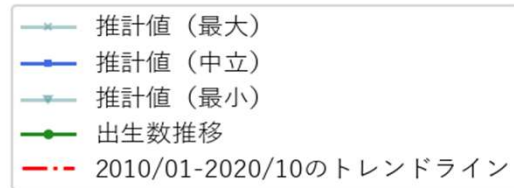
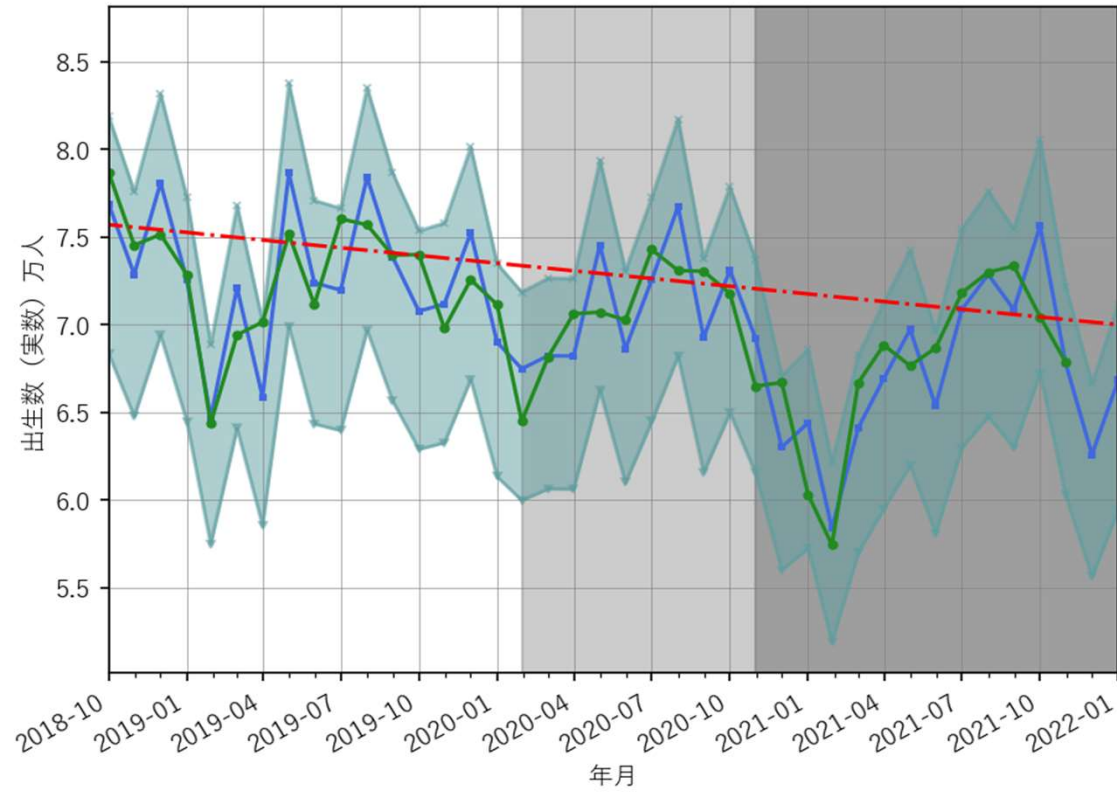
人口動態統計（確定値との調整を行った値）

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>

## 2021年12月-2022年1月の出生数推計

- 妊娠届出数（月次データ）から月次での出生数を推計
  - 例：現在の最新の2021年8月までの妊娠届出数から、2022年1月までの出生数を推計
  - 妊娠数からの推計と出生数の乖離にはパターン
    - 各月の乖離は1%未満～13%程度と幅があり、推計にも反映

# 出生数：直近2か月のBackcast



## 出生数：2021年の推定値

	2021年
基本（1－11月平均乖離、12月乖離6.6%）	808,249
楽観（1－11月最大乖離、12月乖離0.5%）	820,480
悲観（1－11月最小乖離、12月乖離17.0%）	795,513

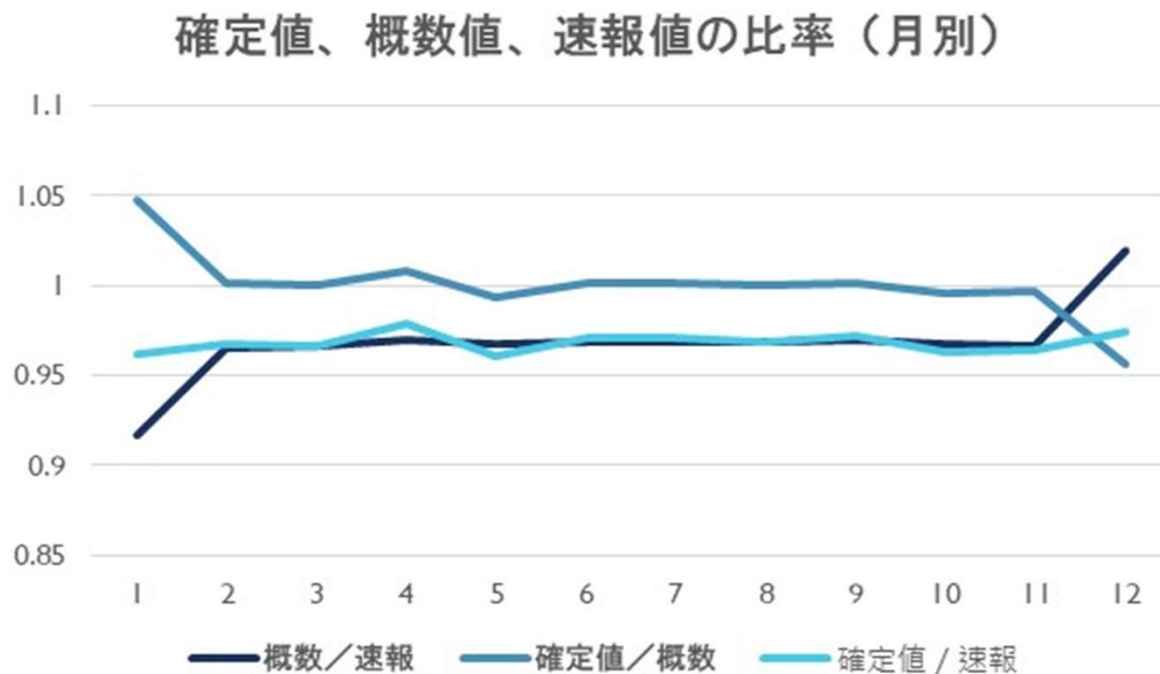
# コロナ禍の出生数

- 2021年1月2月（第1波・第1次緊急事態宣言の期間に対応）の出生数は大幅減少
  - ビフォー・コロナのトレンド（2010年1月～2020年10月）に従った場合、2021年1月の出生数は72,000人
    - 実際は、それより約11,000人（16%）少なかった
  - ビフォー・コロナのトレンド（2010年1月～2020年10月）に従った場合、2021年1月-2021年2月の合計の出生数は143,000人
    - 実際は、それより約26,000人（18%）少なかった
  - コロナ禍突入直後に妊娠が控えられたことを反映
- 2021年3月以降は回復基調
- 妊娠届出数を用いた推計では2021年12月・2022年1月の出生数は停滞の可能性が高い
  - この停滞が一時的である可能性もある一方、2021年3月からの回復が一時的であった可能性もある
  - この停滞が2020年・2021年の婚姻数低下による影響の前兆である可能性
    - 「コロナ禍の婚姻」（千葉・仲田）
    - 結婚してからの第1子出産までの平均年数は約2.5年
  - 一人当たりの出生数が大きく変化しないと仮定すると、婚姻数減少は出生数減少につながる
    - 2020年・2021年の婚姻数は約11万件減少
    - 2022年以降の婚姻数がコロナ禍の婚姻数の停滞を「埋め合わせる」ほどに上昇しなければ、今後数年に渡って約21万人（ $=11 \times 1.95$ ）の出生者数を減少させる計算

- 火曜日に分析更新・Zoom説明会 : <https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>
- 参考資料 : <https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html>
- Zoom説明会動画 : <https://covid19outputjapan.github.io/JP/recording.html>
- 経済セミナー連載
  - <https://note.com/keisemi/n/n9d8f9c9b72af>、<https://note.com/keisemi/n/n7f38099d0fa2>
  - <https://note.com/keisemi/n/nd1a6da98f00e>、<https://note.com/keisemi/n/n430f8178c663>
- 論文 : <https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs42973-021-00098-4>
- Twitter: <https://twitter.com/NakataTaisuke>
- 質問・分析のリクエスト等
  - [taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp)

# 參考資料

## 月次出生数の確定値、概数値、速報値の比率※



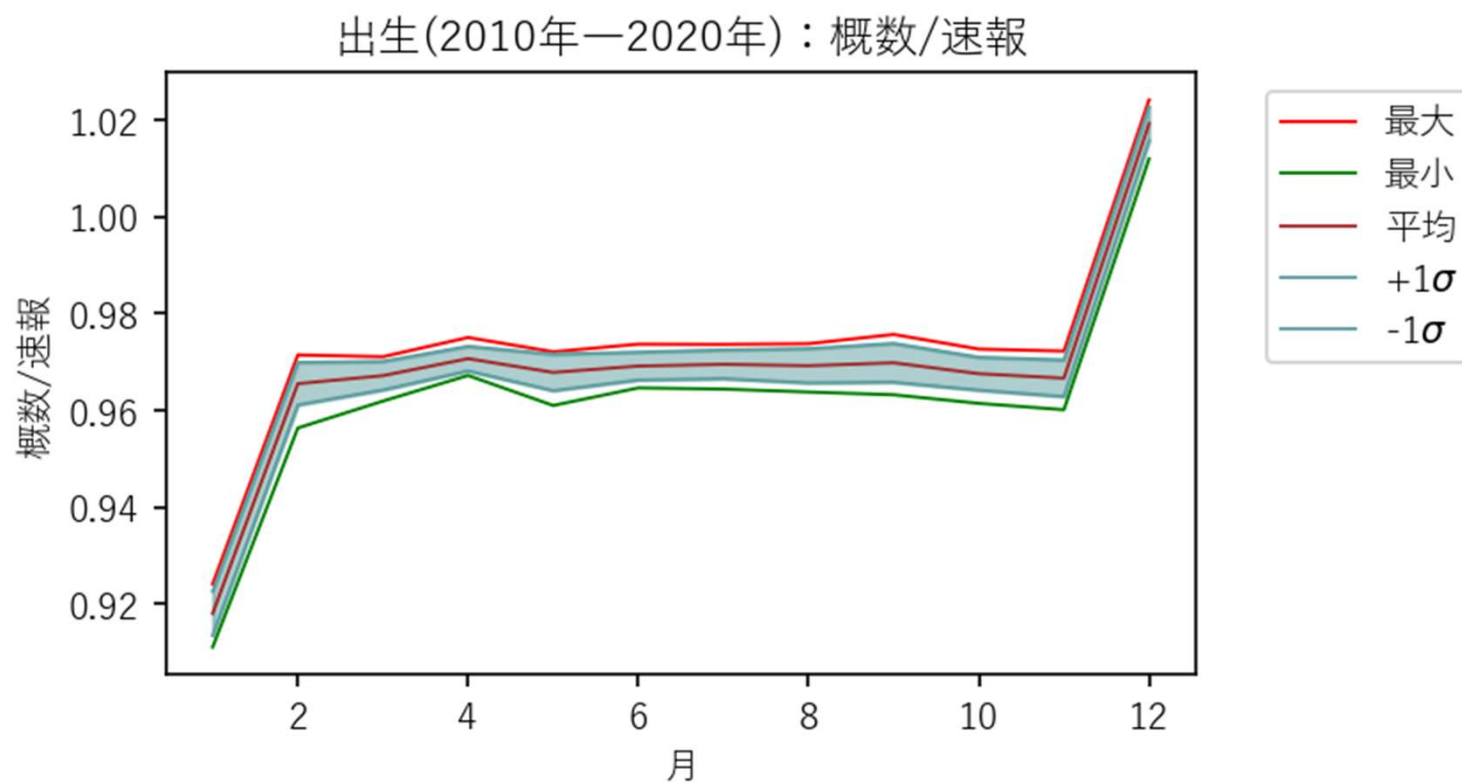
※ 2010年1月～2020年12月の乖

離の平均  
人口動態統計

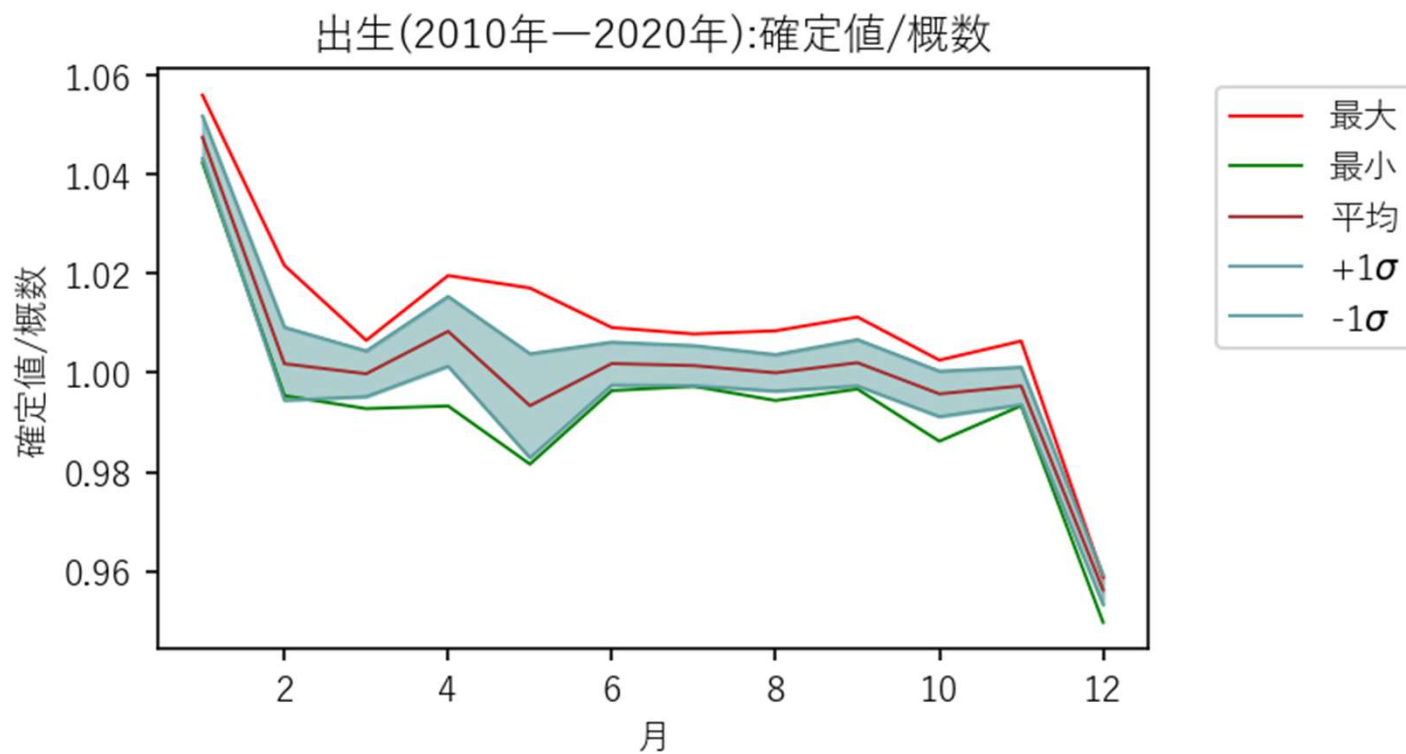
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>



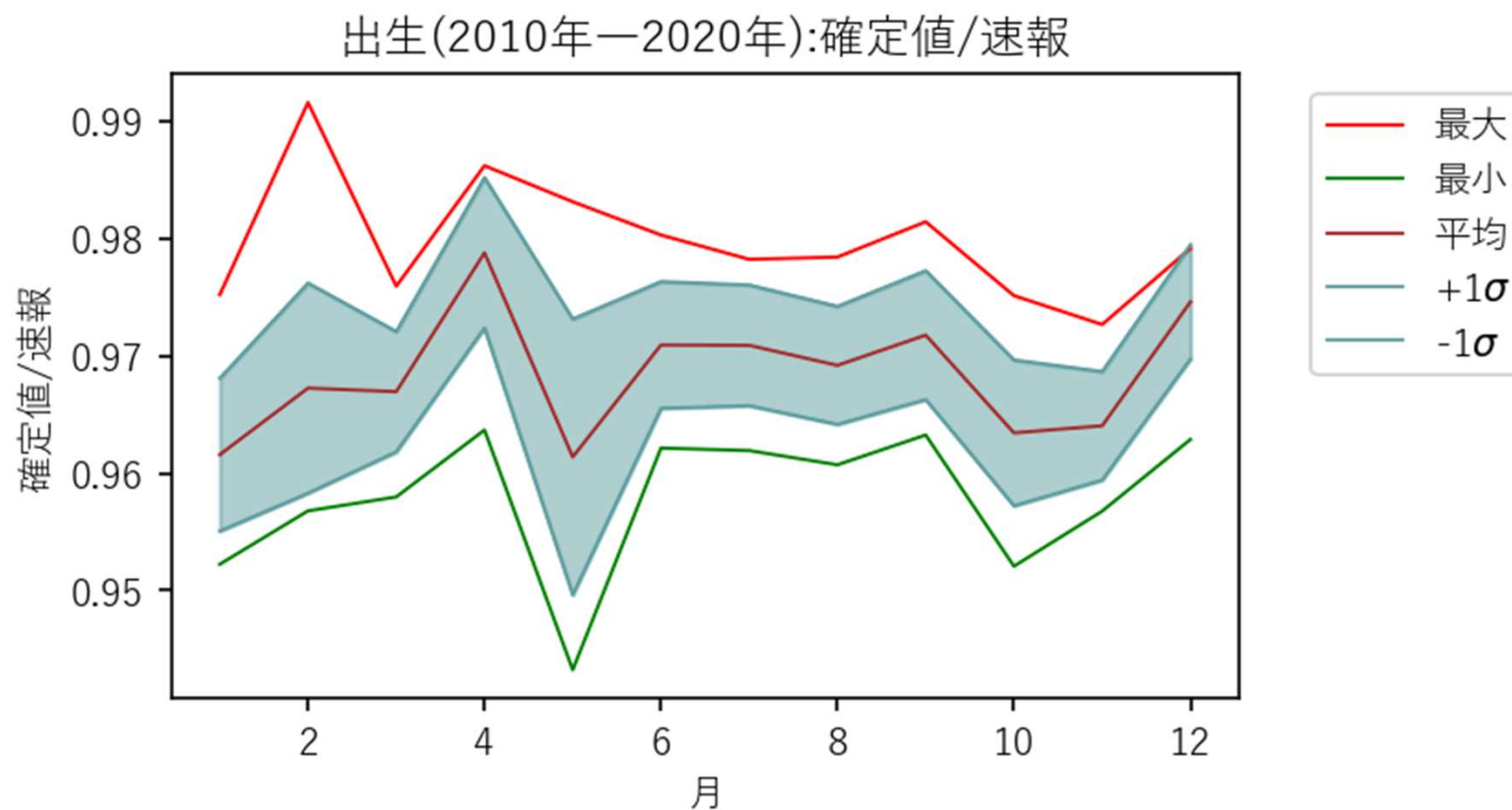
## 月次出生数の確定値、概数値、速報値の比率※



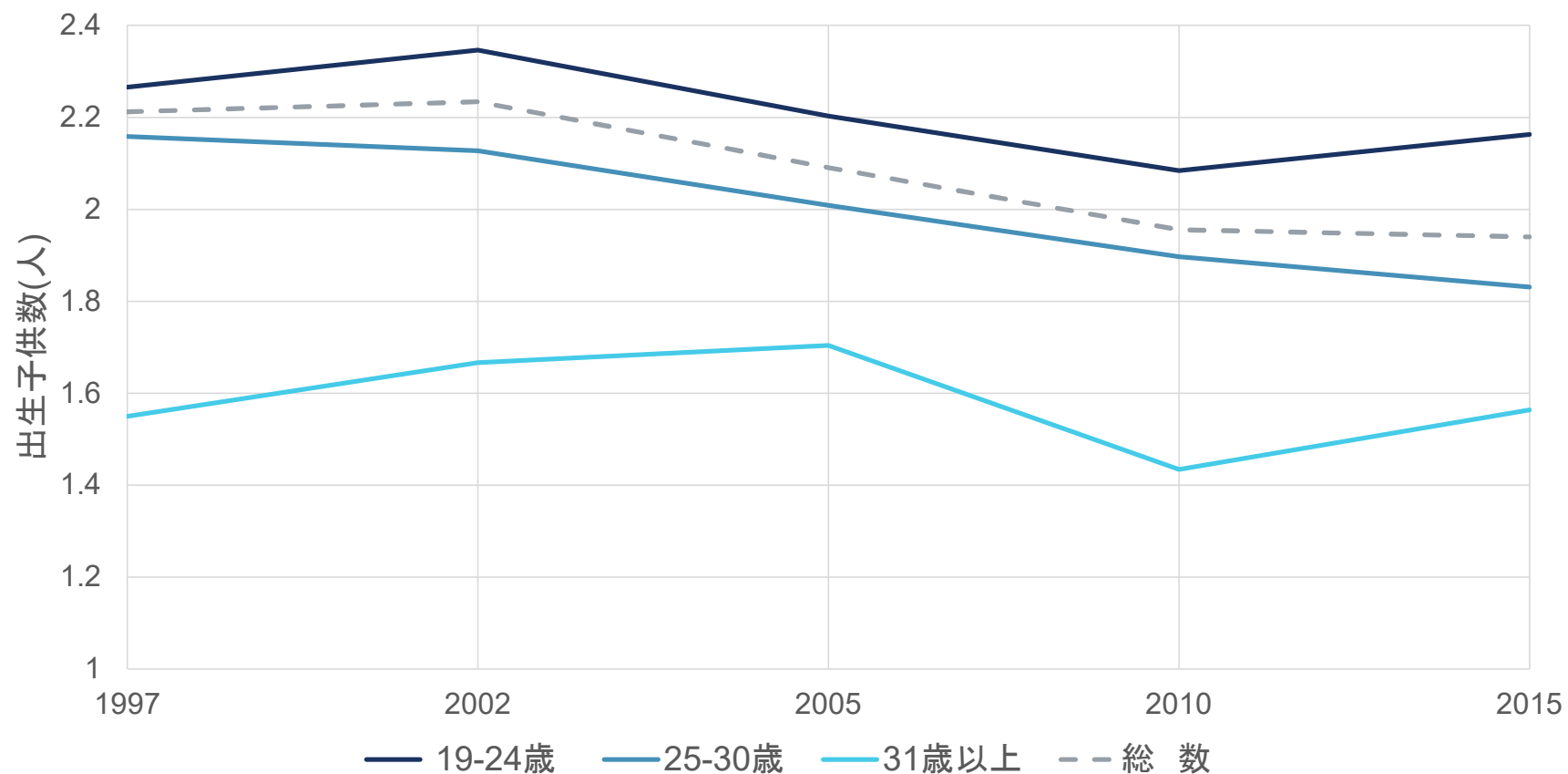
## 月次出生数の確定値、概数値、速報値の比率※



## 月次出生数の確定値、概数値、速報値の比率※



## 妻の結婚年齢別 出生子供数(結婚期間15-19年)



出生動向基本調査

[https://www.ipss.go.jp/site-ad/index\\_Japanese/shussho-index.html](https://www.ipss.go.jp/site-ad/index_Japanese/shussho-index.html)